

# なきごえ



1975

6

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

清水亮佑

私は家畜外科を専門としています。馬を対象に発達してきたわが国の獣医学も、酪農の振興にともない乳牛が主体となっており、食生活の向上から、豚、ニワトリの多頭羽飼育が盛んとなり、生活の安定につれて、ペットブームがおとずれ、犬猫等の愛玩動物が増加して、我々の対象とする動物も多種多様となっており、時には野獣をも治療することがあります。いかなる動物でも、その治療にあたり、常に念頭に入れておくべきことは、動物は一般に強制されることを好まないものであるから、彼らに接する場合は常に彼らの自己防禦の本能に対して充分なる注意を必要とすることである。自己防禦能とは彼らの自然に持ちそなえたもので、例えば、馬は蹴る。犬は咬む。といったたぐいである。一般に馬は蹴るもの、犬は咬むものと考えられているが、彼らの側からいえば、自己を守るための手段にすぎないものであろう。新聞紙上を時折にぎわす犬害、等は、もう少し動物の側から見て掘り下げては如何だろうか。もっとも、動物を飼育する側からの反省が先立つことではあるが。

こゝで「動物と私」を語るとき、私と切っても切れない馬を挙げなければならない。現在の私があるのも、馬あったがためといっても過言ではないと考えている。大阪に生まれ大阪に育った私が馬と縁を持ったのは今を去る35～36年前の頃である。今と異なり自動車の数は極く僅か、荷馬車による運送が盛んであり、町のあちらこちらに馬用の水飲み場がおかれ、時折軍隊の隊列に荷馬車を引いた重輓馬、駄載した重種等々が見られた。同級生の家に馬が居たのである。それも馬車馬でなく、れっきとした黒鹿毛の乗馬であった。

腕白坊主5～6人が、学校が終わるや否やその馬に乗るため先を争い、今日は駈歩をやったぞ、と歓喜したものである。更に決定的にしたのは、当時馬事思想の普及のため、小学校へ乗馬クラブより数頭の馬が来て、高等馬術を見せてもらった。高等馬術のすばらしい動きもさることながら、仔馬が同道し

ていたのである。当時でも大阪に於ける馬産は無かったが、シンガポールで捕獲（捕虜）され乗馬クラブへ払い下げられ出産したと聞いたが、初めて触れた仔馬、つぶらな愛らしい目、尾、ますます馬のとりこになってしまった。中学に入り騎道部のあるのを知り、早速入部した。昨年廃止になった、春木競馬場での合宿訓練、大阪城公園での警備騎馬隊結成式へ参加した時、数百頭の馬が集まった時の雄壮さ、馬糞が窮し茶ガラ集め等をした苦しい思い出、戦後食糧難時代の京都長岡競馬場で行われた第1回国民体育大会馬術競技等美しい思い出、疝痛馬の苦しみを見た時のあわれみ等々が、私の人生の方向づけとなったと申せましょう。

話はもとにもどり、動物の側から考えるということ、これは私達のごとく常に動物に接し診療している者が、大いに考えなければならないだろう。動物のごとく口のきけないものとの対話には、表情をとらえることが大切である。目は心の鏡、といわれるが、人のみならず、動物にも充分あてはまることである。性質の温順さは愛らしい輝きのある目に、敵意あれば鋭くにらみ、疲労、苦痛には注意力欠乏した鈍い輝きのない目に、不安なときは常に落着きなくキョロキョロとする等々。目だけでなく、耳鼻尾等の動作肢全身姿勢によっても種々なる表情感情がよみとれるものである。これらの表情は特に馬が豊かであり、私自身、他の動物を視るときの大きな参考となっている。現今でも週3～4回は乗馬していますが、馬が現在の私をもたらしただけのものばかり知れないものがあり、常に馬に感謝している次第です。  
(大阪府立大学農学部助教授)



なきごえ6月号もくじ

動物と私	2
フラミンゴのひな誕生	3
動物園グラフ	4・5
サファリーパークについて	6・7
天王寺のどうぶつたち(5)	8・9
獣医室から①	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明  
“モウコレイヨウ”  
昨年日本ではじめて、天王寺動物園にやってきました。順調に成長していますので、赤ちゃんの誕生も期待されます。

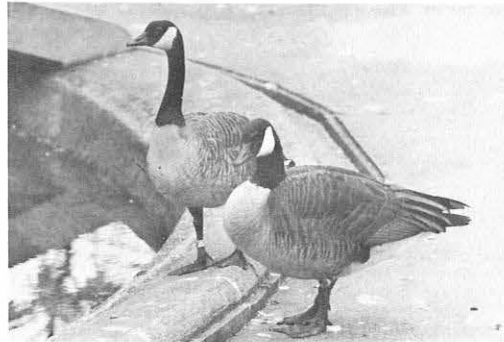


“フラミンゴのひな誕生”  
今年もすでに4羽のひながかえって、母親の口からえさをもらいながら育っています。  
ひなは白っぽい灰色のわた毛におゝわれて大変かわいゝものです。

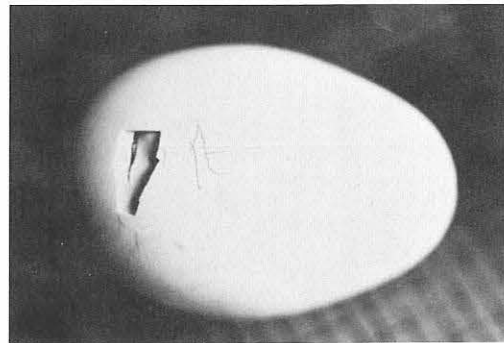
# 動物園グラフ

## “カナダガンの赤ちゃん誕生”

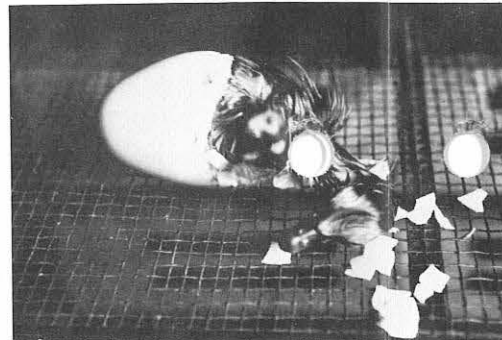
5月5日のこどもの日に当園で初めてのカナダガンのヒナがふ化しました。その誕生から成育過程をグラフにまとめてみました。  
愛称はブランタちゃんです。



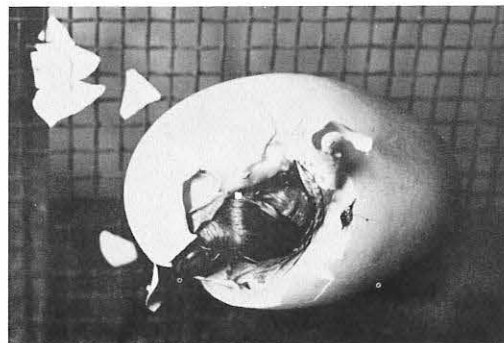
水禽放養舎にいる両親



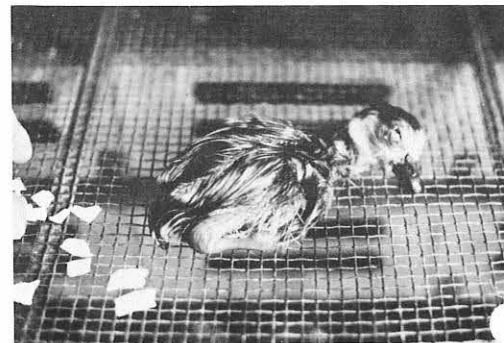
4月7日にふ卵器に入れた卵は5月4日にはしあげ、  
しました 卵重 140g  
長径 8.0×短径 5.6cm



5月5日10:30  
体半分、もう少しです ガンバレ!



5月5日 9:30  
やっと顔が出てきました



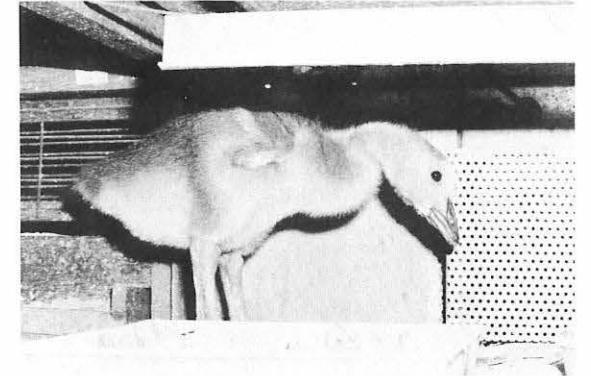
5月5日11:50  
やっと誕生です 体重93g



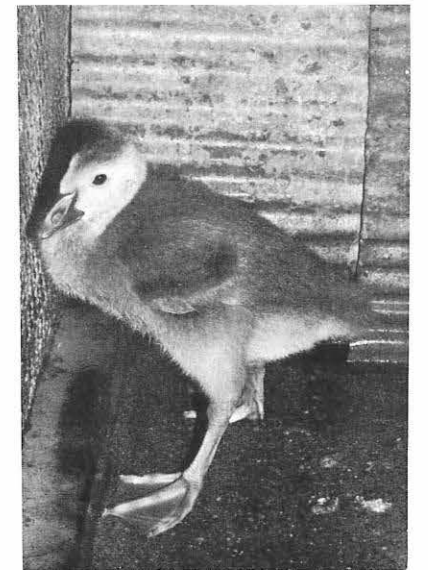
5月11日(7日令)  
きょうは体重測定です  
体重 198g



5月13日(9日令)  
始めて外を散歩しました 体重 300g



5月21日(17日令)  
もう育雛室の天井に頭がつきそうです  
「こんなせまい所イヤだよ!」 体重 870g



5月27日(23日令)  
広々とした収容室に移してまた  
一段と大きくなりました 体重1300g

## 4・5月の動物園日記

- 4/21. バクの右下顎部にこぶし大の膿瘍ができており、  
抗生物質の投与を始めました。  
クロトキの左翼上腕骨が複雑骨折をしたので、肩  
甲関節部から断翼しました。
22. 飼育研究会を開き、「園内の野鳥観察」「アカカ  
ンガルーの仔の成長観察」の発表がありました。
23. カムリヅルが死亡しました。  
クロエリハクチョウが産卵しました。

26. アオサギが4羽ふ化しました
27. マレーグマが交尾しました。  
春の動物園まつりが始まりました。
28. サイの下痢がひどく投薬を続けています。
- 5/1. ブタオザル1頭の寄付がありました。
3. クロエリハクチョウが抱卵を中止したため、ふ卵  
器に移しました。
4. フンボルトペンギンが卵を2コ抱卵中です。
5. シュバシコウが3羽ふ化しました。  
今年最高の19万7千人の入場者がありました。  
大島市長出席のもとに動物の日方を計る会がおこ

- なわれました。
8. 園長が、欧州、米国の動物園視察に出発しました。
9. マントヒビが1頭出産しましたが、オスに咬まれ  
て惜しくも死亡しました。
11. アナグマ1頭の寄付がありました。
13. ハイロカンガルーの赤ちゃんが、初めて袋から  
顔をのぞかせました。  
オウミケンシ労働組合から樹木10本の寄贈があり  
ました。
14. キューバフラミンゴが1羽ふ化しました。  
メンヨウが1頭生まれましたが、親が初産で授乳

- をいやがるため、親子共別室に収容して哺乳させ  
ています。
15. ライオンが2頭出産しましたが惜しくも死産でし  
た。  
暖房用のボイラーを本日で打切りました。
18. 14日に続いてフラミンゴが1羽ふ化しました。
19. クロエリハクチョウのメスが皮下気腫を起こして  
衰弱気味なので研究室に収容して治療を始めまし  
た。
20. 治療中のカタジロワシが両足が完全に麻痺してし  
まい心配です。

## サファリーパークについて

松岡 惠爾

広いところで動物を飼って「アフリカ、ケニアの自然動物園を再現して、国内で皆様方に見ていただくようにしたのがサファリーパークです。

いま、日本サファリーパークでは、日本で初めての試みであるサファリーパークの建設を宮崎県佐土原の35万坪の敷地に着手しています。工事も順調に進行していますので、皆様方には、この11月頃に見ていただけることになるでしょう。

さて、韓国では、一足早くソウルから自動車40分のところにある竜仁に、三星物産の手によってライオンサファリーが出来ています。この形式は小規模のもので、ライオンコーナーで5000坪ですが、私は

この広場にライオンたちを初めて出した4月22日に幸いにもその様子を観察する機会に恵まれました。



ライオンたちは、生後6カ月から飼育された、平均1.8年のおす19頭、めすは11頭の計30頭で、飼育人にもよく馴れていました。午前9時30分、扉が開かれると、狭いグラウンドから広々としたところへと一せいに飛び出していきました。いつも閉まっているところが開かれてのですから、小々とまどったのか、



方向が定まらず、てんでばらばらの行動を起して散らばりました。怖いもの知らずの彼らですから、あの岩陰や丘のむこうはどうなっているのか、興味と希望、それともただ何となくうれしいのかわかりません。フェンスにそって走るのもいましたが、フェンスには全く興味がなく、前足をかけようとするのは一頭もいません。フェンスよりも樹木や岩に興味を持つものが多く、得意の爪で、引っかいたり、岩の上に飛びのったり、また、岩陰を用心深くぐると廻ったり、丘の向うから突然現われた仲間待伏せの姿勢をしたり、とびか、ったり、のびのびとした行動が1時間あまり展開されました。

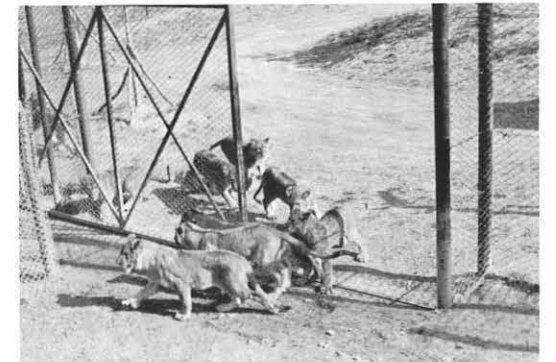
飛び出したときは夢中だったのででしょうか、以前から仲よしのグループに出会い、自然と2~3頭のグループで行動を取るようになりました。

1時間あまり歩きまわった彼らもいつしか、木陰や、岩陰で気持ちよさそうに横たわりましたが、しばらくすると、どうもあちらこちらが気になるのか武者修業者のように歩き廻るのができて、また遊びがはじまりました。それは追いかけてこや、待伏せごっこで、彼らの野生の生活の一端をしのぼせる

ものです。この中で、一番大きいのが、ビックマンと呼ばれていましたが、彼は、そのガールフレンドといつも行動を共にして常におうように振まっています。キーパーにはだいたい馴れているようですが、私がジープから降りると、うさんくさそうに見つめていて、姿勢を低く攻撃のかまえで、足早やに近づいて来るものもいました。そのようなときにはこちらも棒で威嚇しますと、こいつもキーパーの仲間かというような動作をしました。

さて、夕方寝小屋への誘導が気づかれましたが、散らばっている彼らをジープで追って集合させる作業は、そう手間のかかるものではなく、中には餌がもらえる気配を察知して、早く寝小屋に行きたがる優等生もいます。まだ遊びたいのか1頭いましたが、大体集合するとキーパーの次の行動を待っているようです。キーパーは内部と外部は携帯マイクで連絡合せて、準備完了と共に鐘をならします。鐘の音と共に開かれた扉から一せいに飛び込んでゆきました。

寝室は、大体5~6頭のグループに分けて入れるようになっていますが、間違ったグループに入ると、給餌のときに斗争があるので、それを選別するの



大変気を使います。はじめは、室に入れてから餌をやりましたが、それから数日たって新設の寝小屋に引越すことになり、混乱が起りましたが、それも1日だけでした。

あらかじめ寝小屋の前でグループを選別して誘導するのですが、寝小屋の中には5kgづつの肉が間隔をおいて山積みしてあります。

ライオンたちは1つの山に喰いつくと他のところは無関心です。採食には15~20分か、りますので、山積の肉と頭数が同じのときには皆が順調にありついているようです。しかし、早ぐいなものもいて、他のものの餌をねらっのもありますが、たいしたトラブルはないようです。

サファリーパークでは、いろいろの飼育方法がありますが、ここでは、その一部を紹介しました。

ライオンばかりではなく、キリン、シマウマ、トラ、サイ、チーターなど、いろいろの動物のコーナーも予定されています。

(日本サファリーパーク技術顧問)

# 天王寺のどうぶつたち (5)

## チンパンジー ①

今月からは、みんなもよく知っている、チンパンジーのお話しです。

チンパンジーはもちろんサル仲間ですが、ゴリラやオランウータン、テナガザルなどといっしょにして、特に「類人猿」と呼ばれています。この仲間は、サルの中でも特にヒトに近く、とても頭のいいサルです。最近の研究によるとチンパンジーのなかには絵文字を使って「私はバナナが食べたい」とか「水をのみたい」とか、自分の考えていることをヒトに伝えることができるものもいるそうです。

今、天王寺にはシュージー、リカ、キャンディー、ナツコ、ヨーコ、それにサクラと6頭のチンパンジーがいます。リカだけオスで他の5頭はみんなメスです。この6頭の中で、一番年上はシュージーです。昭和26年5月30日に2才位で、天王寺にきましたから今では26才位です。日本中の動物園で約130頭のチンパンジーがいますが、その中でシュージーは3番



スターの座に

目のおとしよりです。チンパンジーは大体35年から40年位生きますから、シュージーは人にとえると50才から60才位のおばあさんとい

うことなるでしょう。

シュージーはアフリカのコンゴという国で生まれました。そこで現地民につかまえられて、ドイツの有名な動物商

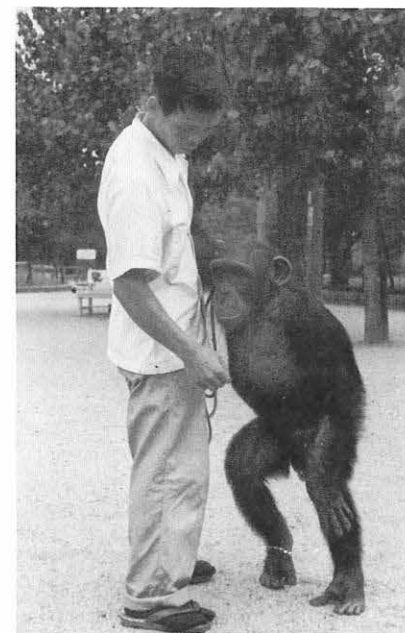


スターはなやかなりどころ

のハーゲンバックという会社に引き取られ、そこから天王寺に送られてきました。値段はその当方で、118万円でした。

天王寺に来てからは、とてもたくさんのいろいろな芸をおしえられました。でも、とてもかしこいシュージーは、ドンドンそれらの多くの芸をおぼえてゆきました。三輪車のり、自転車のり、竹馬などはあさめしまえでした。ピアノをひいたり、絵をかいたり、金魚すくいまでできました。それに、テーブルマナーまでちゃんとおぼえました。大好きなソーセージを左手のフォークでおさえて、右手のナイフで切り、それをフォークでさして、とてもおぎょうぎよく食べるまでできたのです。こんなシュージーでしたから、大阪のスターのひとりにかぞえられる位でした。これらの芸をおしえたのが、今も動物園で飼育係をしている大ベテランの辰野主任さんでした。辰野さんは今までに12頭ものチンパンジーを

調教してきましたが、その12頭のなかでも、シュージーはやはり一番かしこかったそうです。スターのようなシュージーでしたからファンレターもよくとどいたそうです。また、とてもたくさんの人からさまざまなプレゼントも、もらいました。モーニング、紋付、ハカマ、おまわりさんの制服といった、着るものからオルガンや、木きんなどの楽器、電気自動車、自転車など3台ももらいました。その他にも、ここには書ききれないほどたくさんのプレゼントをもらいました。またデパートまで行って、クツや服をあつらえたこともあります。こんな人気者のシュージーに一度、新聞社が値段をつけことがあります。500万円でした。そのころの500万円という今何千万円にもあたります。でももちろん動物園のおじさんたちはシュージーを手放したりはしませんでした。



隠退したころ

そんなたいせつなシュージーだったので、あまりだいに飼いすぎて、とてもカゼをひきました。カゼから肺炎になって死にかけたことが二度

もあります。そんな時、辰野さんは何日もねずにシュージーのかん病をしました。そんな弱かったシュージーも大きくなるにつれて、飼い方も変えてい



現在のシュージー

だったので、だんだんじょうぶになりました。今ではさむい冬でもカゼなどぜんぜんひきません。昭和32年、大きくなってしまったシュージーは8才で引退しました。そして今日まで静かにくらしてきました。3年程前、「はくないしょう」という眼の病気にかかって、今ではほとんど見えない位ですが、もう20年もくらしているへやなので、ぜんぜんふべんではないようです。6年前から飼育係は青野さんになりました。青野さんの話しによると、最近のシュージーは眼が不自由な以外は、他に悪いところはどこもなく、とてもじょうぶだそうです。また、性質もとてもおとなしく、本当に世話のしやすいおばあさんだそうです。こんなシュージーをいつまでも元気でくらせてあげたいと考えています。

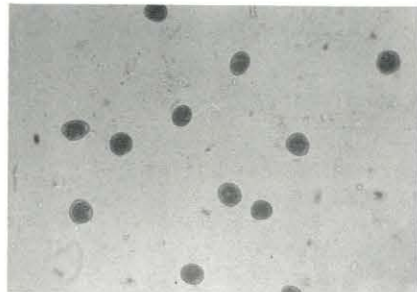
(飼育課 長瀬 健二郎)

## 獣医室から ①

今回から、今まで連載していた「動物相談室」に代わって、この「獣医室から」を掲載することになりました。動物園の動物の状態や病気、治療、飼育、管理的な多くの面を獣医の眼を通して、読者の皆さんにお知らせするページにしたいと思っています。なお「動物相談室」はしばらく休載しますが、市民の方々から、おもしろい相談でも受けた時に一括して載せたいと思います。

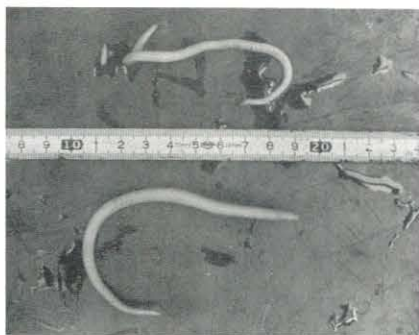
### ◎寄生虫検査月間

4月は園内の動物の寄生虫検査月間になっており、各動物の糞便を採取してきて検査しています。しかし収容動物330種1300点もの動物を検査することは、1ヶ月ではなかなかできず、つい5月、6月と月数を費してしまいま今だに完了していないありさまです。目下のところシマウマの回虫卵、ライオン、ト



①ライオンの回虫卵 (顕微鏡写真)

こんなに大きいのが多数寄生しているのは、栄養分を吸収されてシマウマとしてもたまったものではないでしょう。



②シマウマの回虫

### ◎バクの食欲不振

アメリカバクのテレサちゃん(メス3才)は4月初め頃からめっきり食欲がなくなり、どうしたことだろうといろいろ調べていましたが、なかなか原因が分かりません。その内どうも便秘を起こしているらしいと分りましたので、大好きなリングに栄養剤や整腸剤を混入して与えました。しかし2、3日経過

しても依然食欲不振です。バクというのは御存じの方も多いと思いますが、水中に入って糞便をする性質を持っており、動物園でも池を設けてその便宜をはかっています。寒い時期ですと水に入るのをきらって便秘を起こすことがよくありますが、暖かくなった時期にこんな便秘は珍しいことです。あまり便秘が続くようでは体に良くありませんので、洗腸なり腸の動きを活発にする注射をうつという強行手段をとろうとした失先、やっと排便しました。池の中に浮かんだ糞便を調べてみると、妙なものが中にありました。それはミカンなどを入れてある網目のビニール袋で、圧縮されて人間のこぶし大位のかたまりになっていました。こころないお客さんがミカンを袋ごと放りこんだのを、テレサちゃんが一緒に食べて、腸が一時的に閉塞してしまったのでしょう。重症にならずに幸いでした。翌日からは、がぜん元気を取り戻して餌を食べ始め、係員一同胸をなでおろしました。



③バクの糞便中のビニール塊

\*バクなどの奇蹄類では胃が1つのため、胃内にビニールなどは停滞せず、ある程度の便秘などを起こす位で排泄されますが、ウシ、シカ、キリンなどの反芻類は複胃といって胃が4つに分かれており、しばしば第1胃内で消化のしにくいビニール類などがからみあって大きな塊をなし、その結果採食不振、消化障害を起こして死亡するケースがあります。いわゆる動物園でいうところのビニール公害ですが、入園者の方々ももっと自覚をもたれて、動物に餌(もちろんビニール袋も含めて)を与えるようなことはつつしんでほしいものです。

今回はどうも糞便にまつわるクサイ話ばかりでしたが、次回からは動物園の裏話みたいなものもあわせて載せてみます。(飼育課 宮下 実)

## 夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



上本町近鉄 TEL.(06)779-1231

アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111

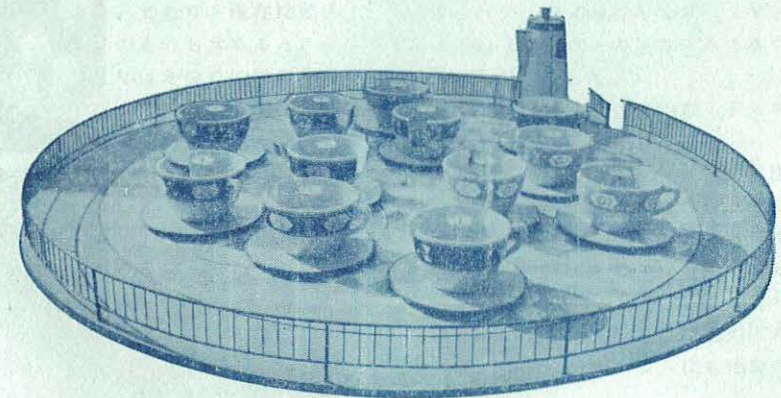
奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



## 遊園施設委託経営・製作・販売



## 久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40  
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

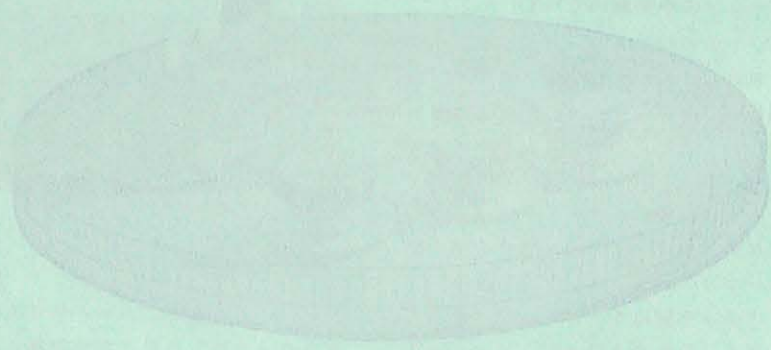
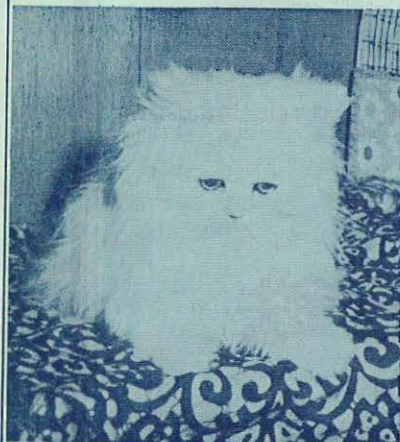
# 世界の猫、小鳥と愛玩動物専門店

はく製製造卸・直輸入動物取扱い店  
各国、犬種・シャム猫・ペルシヤ猫

大阪市南区心齋橋1丁目38

## ⊗ そごう 鳥獣部

そごう百貨店屋上 直通TEL  
大阪06(252)5497 (241)9146  
大阪06(271)2221 内線 2554

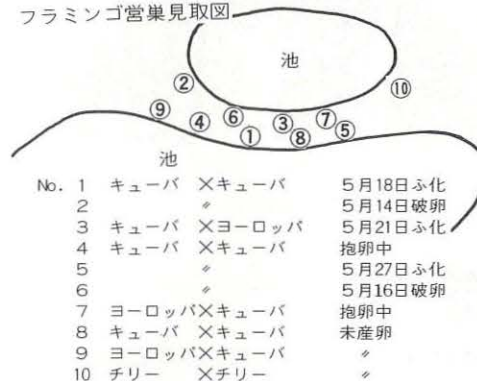


# 動物園ニュース

## ☆フラミンゴ3羽誕生

フラミンゴは10ヶ所で特有の塚を作って7ヶ所で抱卵していましたが、5月18日、27日にキューバフラミンゴ（ベニイロフラミンゴの1亜種）が各1羽5月21日にはヨーロッパフラミンゴとキューバフラミンゴの雑種1羽がふ化しました。昨年、1昨年も3羽ずつふ化しており、フラミンゴの繁殖は軌道にのったようです。まだ2ヶ所で抱卵中ですので、もう1、2羽誕生の可能性がります。

フラミンゴ営巣見取図



## ☆シュバシコウ、アオサギのふ化



水禽放養舎ではシュバシコウが6巣で抱卵していましたが、5月5日に3羽、5月23日に3羽と計6羽誕生しました。共に順調に育っており、現在抱卵中のもも含めると、今年はかなり数のヒナが期待できそうです。又、アオサギも4月20

日から26日にかけて4羽ふ化し、順調な成育ぶりです。この放養舎内ではあとウミ



ネコが抱卵中で、まだまだおめでたが続きそうです。なお抱卵中だったカナダガンの卵は惜しくも無精卵でしたが、ふ卵器に入れておいた卵は、5月5日に1個だけ無事ふ化しました。（グラフ参照）

## ☆ハナグマ誕生

4月16日アカハナグマが5頭誕生しました。惜しくも3頭は生後すぐに死亡しましたが残る2頭は元氣一杯に育っています。昨年も2頭誕生しており2年連続のおめでたです。



## ☆動物の目方を計る会

例年5月5日の子供の日はゾウの目方を測る会を催してきましたが、今年はゾウでは危険性が高いため各種動物の目方を計る会に変わりました。当日は大島大阪市長も出席されて、特設の計りの上で動物の目方を計りました。又、それと同時に今年3月4日に誕生したエチオピアライオンの子のペットネームの発表もありました。たくさんの良い子たちから募集した結果、オスはポポ、メスはロロと決まりました。

当日は又、アトラクションとして大島市長とエトのウサギの体重比べがあり、市長の体重75.5kgに対してウサギ35頭がかり合いました。



各動物の体重：エチオピアライオン（オス9kg、メス8kg）、チンパンジー（サクラ3才）14.5kg、ヘビ（ボア）3.5kg、キングペンギン11.5kg、ゾウガメ49kg（ゾウガメの目方をあてるクイズの応募総数は39561票でした。）

なお当日は今年最高の19万7千人もの入場者があり、園内は人並で埋まりました。

## ☆園長、ヨーロッパ、米国へ視察に出発

5月8日、当園の中川園長がヨーロッパ、米国の動物園視察に出発しました。オランダ、イギリス、西ドイツ、スイス、アメリカの各動物園を視察して5月末帰国の予定です。なお、イギリスではペイントン動物園で行われる動物園のデザインと構造についての国際シンポジウムにも出席の予定です。

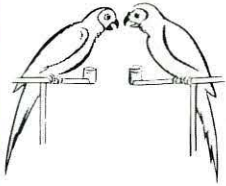
## ◎おねがい

日曜、祭日は駐車場が満車になります。マイカーをやめて他の交通機関でご来園下さるようお願い致します。

## ◎お知らせ

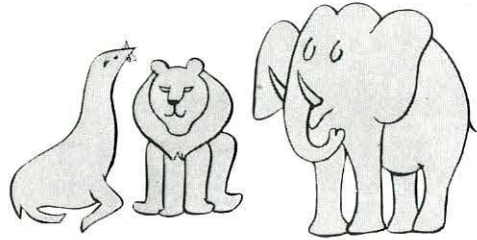
6月は16日（第三月曜日）が休園日です。

なきごえ 昭和50年6月15日発行 (毎月1回15日発行) 第11巻第6号(通巻119号)  
 編集/大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区玉水町2  
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201  
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)  
 振替口座 大阪 37823



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各140cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・田上 勝・中川 道朗〉  
 〈農本 武志・深井 和美・東 政宏・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎〉